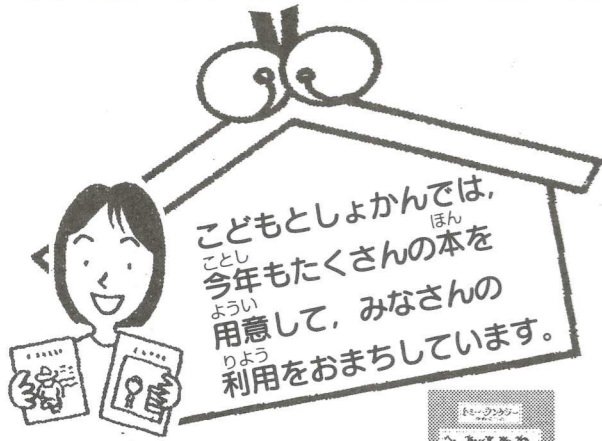


こどもとしょかん

ニュース

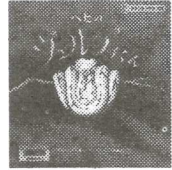
H25・1・2月号 No.336



「へびのクリクター」(えほん)
トミー・ウンゲラー/作
中野 完二/訳 文化出版局

ブラジルからフランスへやってきた賢く、心やさしいへびのクリクターが大活躍するおはなしです。

「へびのヴェルディくん」(えほん)
ジャネル・キャンノン/作
今江 祥智 遠藤 育枝/訳
BL出版



南の島のジャングル。あかちゃんニシキヘビのヴェルディくんの成長の様子がユーモラスで、えほんの全体のあざやかな緑の色が印象に残ります。



「シートン動物記 5
キルダー川のライグマイノシンのあぶく坊や/ほか」(よみもの)
藤原英司/訳 木村 しゅうじ/絵
増井光子/動物解説 集英社

短編「ネズミとガラガラヘビ」では、ネズミとガラガラヘビのすさまじい戦いが、くわしく描かれ、息をのむ思いになります。



こどもとしょかんの本の展示

12・1月 世界の人びと

さまざまな伝統や文化をもつ世界の人びとについての本を読んでみませんか。

2月 ものをつくる

私たちのまわりのものは、多くの人の知恵や工夫、技術によって作られています。2月は「ものをつくる」をテーマに本を展示します。

へび

今年の干支は、巳(へび)です。

へびというと、そのすがたや様子から、こわい、とつきにくいと感じられるかもしれませんが。そんなへびが登場する絵本や物語も意外にありました。この機会に、一度読んでみませんか。

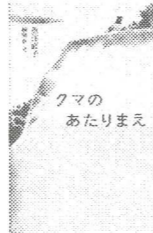


「ともだちになつて」(えほん)
まつおか たつひで /さく・え
ポプラ社

みんなともだちになりたいと願う「へびくん」は、苦心し、頑張り、ついに、たくさんのともだちと心を通じあえるようになります。

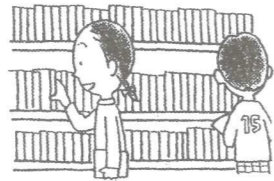


「金貨をくれるへびインド古典説話「パンチャタトラ」より」(えほん)
おのえ たかこ/再話
寺岡 正道/絵 てらいんく
「金貨をくれるへびをめぐり、際限のない人の欲望が描かれています。」



「クマのあたりまえ」(よみもの)
魚住 直子/作
植田 真/絵
ポプラ社

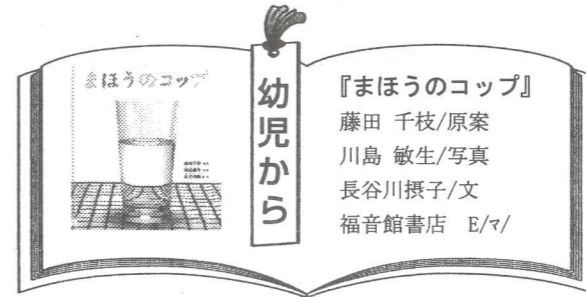
七つの物語のうちのひとつ「朝の花火」では、獲物を捕らえることを目的に生きているアオダイショウが目の見えない少女との交流を通じて、あたたかな気持ちを覚えていきます。



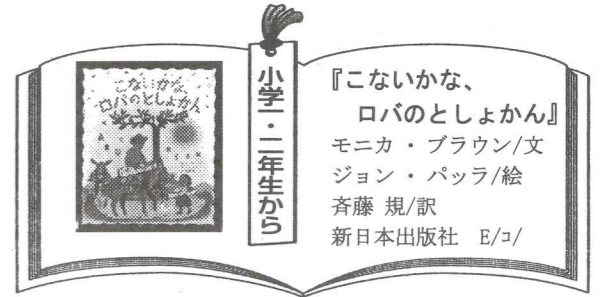
蔵書点検って?

図書館にある本がそろっているか、失われた本がないか、1冊ずつ点検する作業です。図書館が開いているときにはできない作業を集中して行います。本棚の正しい場所に本をもどし、本棚を整えたりもします。

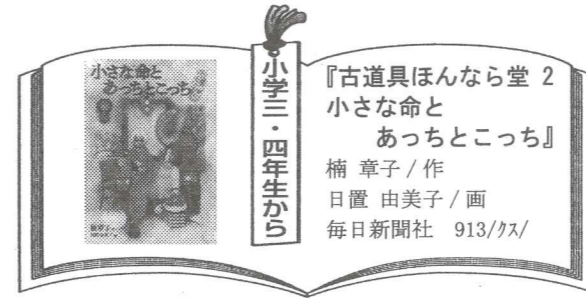
蔵書点検は、本をよくさがせるようにする大事な作業です。



『まほうのコップ』
藤田 千枝/原案
川島 敏生/写真
長谷川 摂子/文
福音館書店 E/マ/



『こないかな、ロバのとしょかん』
モニカ・ブラウン/文
ジョン・パツラ/絵
斉藤 規/訳
新日本出版社 E/コ/



『古道具ほんなら堂 小さな命とあっちとこっち』
楠 章子/作
日置 由美子/画
毎日新聞社 913/クス/



『ハンナの学校』
グロリア・ウィーラン/作
中家 多恵子/訳
スギヤマカナヨ/絵
文研出版 93/本/

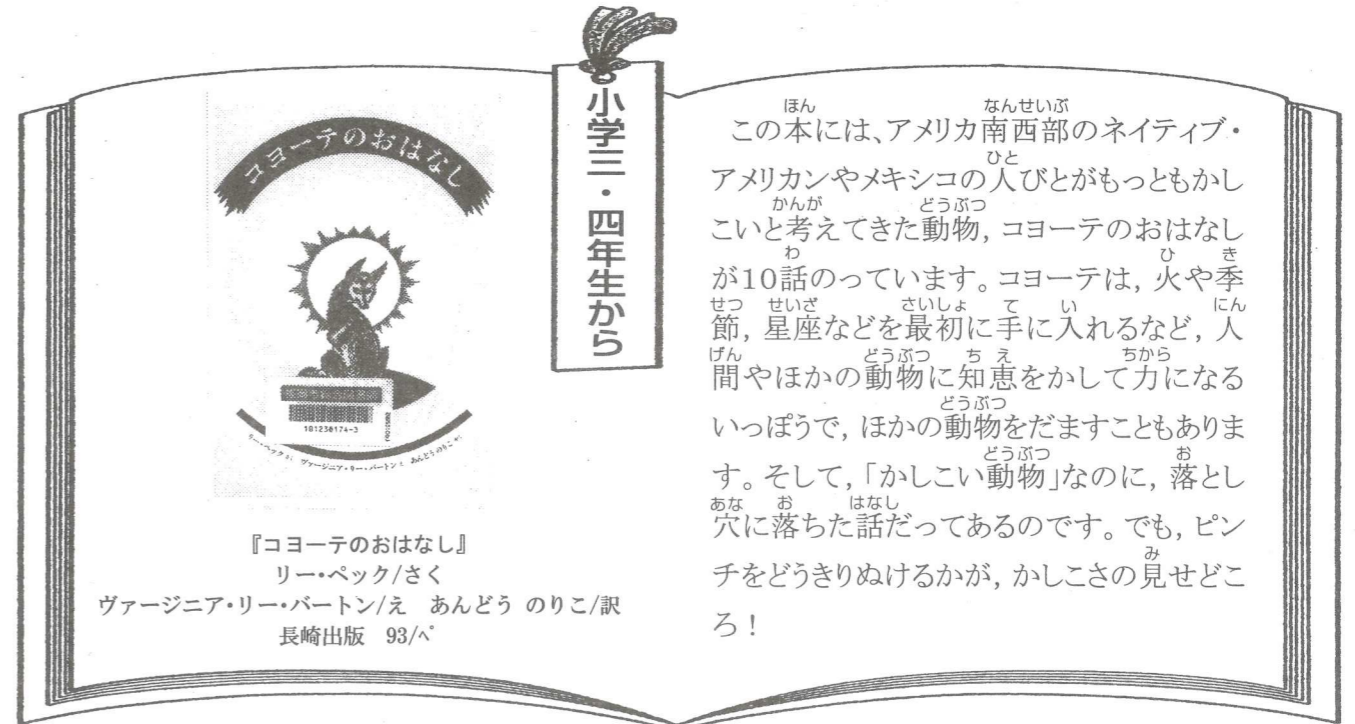


『夜の小学校で』
岡田 淳/作 借成社
913/カ/



『みつよのいた教室』
たから しげる/作
東 逸子/絵
小峰書店 913/カ/

あたらしい本のしょうがい



小学三・四年生から

『コヨーテのおはなし』
リー・ベック/さく
ヴァージニア・リー・バートン/え あんどう のりこ/訳
長崎出版 93/ハ

この本には、アメリカ南西部のネイティブ・アメリカンやメキシコの人びとがもっともかしこいと考えてきた動物、コヨーテのおはなしが10話のついています。コヨーテは、火や季節、星座などを最初に手に入れるなど、人間やほかの動物に知恵をかして力になるいっぽうで、ほかの動物をだますこともあります。そして、「かしこい動物」なのに、落とし穴に落ちた話だってあるのです。でも、ピンチをどうきりぬけるかが、かしこさの見せどころ!



福岡市総合図書館
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 ☎092(852)0600
ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>